

**2018年度 町田市環境マネジメントシステム
市長総括記録とその対応状況**

	市長の総合的なコメント 総括実施日：2018年9月10日（月）	対応状況 2019年6月時点
1	<p>「町田市第4次環境配慮行動計画」については、市全体でのエコオフィス活動に加え、施設や職場の特性を考慮し、対応可能な温室効果ガス削減項目を検討すること。また、公共施設の再編を進めていく際においても、環境に配慮した設備導入等に引き続き取り組むこと。</p>	<p>2018年度に市役所全体のエネルギー使用量削減につなげるため、3施設で省エネ診断を実施しました。その結果を受け、省エネ会議において、「施設設備更新等の際は、病院や学校なども含め、施設の特性に合わせたエネルギーの高効率化を検討していくこと。また、行政の立場として、コストのみならず環境配慮の視点を意識していくこと」が確認されました。</p>
2	<p>施設所管部署ごとに、関連する環境法令の遵守状況を再確認し、市全体として遺漏のないよう対処すること。また、施設管理担当者の意識啓発のみならず、町田市環境マネジメントシステムにおいて環境法令遵守に係るサポート体制の構築を行うこと。</p>	<p>2019年度からチェックシートによる遵守状況確認を各施設で実施します。遵守状況確認のポイント等はEMS研修で指導し、結果についてはエコオフィスと合せて確認していきます。</p>
3	<p>市の取り組み周知については、市民・事業者への環境意識の啓発に繋がる効果的な方策を検討すること。また、広報やホームページ等の活用にあたっては、よりわかりやすい表現で周知すること。</p>	<p>ECOまちだ2018冬号にEMS特集記事を掲載し、11万世帯に配布することで市の取り組みを紹介しました。2019年度からは「ハスのんインスタグラム」を開始し、新たな手法による情報発信も行っています。また、環境白書（活動報告）で活動を紹介しています。</p>
4	<p>施設所管部署の電力調達に係る契約については、環境負荷と財政負担がトレードオフの関係にあることに対して、自治体の社会的責任を意識し、より効果的な環境配慮契約の内容を検討していくこと。</p>	<p>市有施設の電力契約について、競争入札で事業者を決定する場合にはCO2排出係数を条件とした環境配慮契約を実施していますが、そのほかの施設ではこれまで統一したルールがありませんでした。2019年度からは、各課で随意契約をしている施設についても、CO2排出係数を条件として契約を締結するよう見直すこととしました。</p>